

## 農政懇談会の報告会及びスマートテロワール講演会開催について

農政係では昨年の11月末から12月上旬にかけてエリア別農政懇談会を実施しました。懇談会では農地の集約・集積や担い手の確保など、様々な課題とともに今後の目指すべき姿を再確認しました。その報告会を下記の日程で開催いたします。当日は池田町の新しい農業構想「あづみ野池田スマートテロワール構想」について関連した講演会を開催いたします。農業に従事していない方もぜひご参加ください。

### 記

開催日時 令和8年2月14日（土）午前10時00分 場所 池田町交流センターかえで（ホール）

#### 第1部 農政懇談会の報告会

#### 第2部 講演会「あづみ野池田スマートテロワール構想」について 食と農で風景をつくり、守る「北信スマートテロワール」 ～信州小布施から始まった食・農・防災連繋

講 師 勝亦 達夫 先生（信州大学キャリア教育・サポートセンター准教授）



### あづみ野池田スマートテロワール構想について（概要）

#### 1. 農業を取り巻く環境の変化

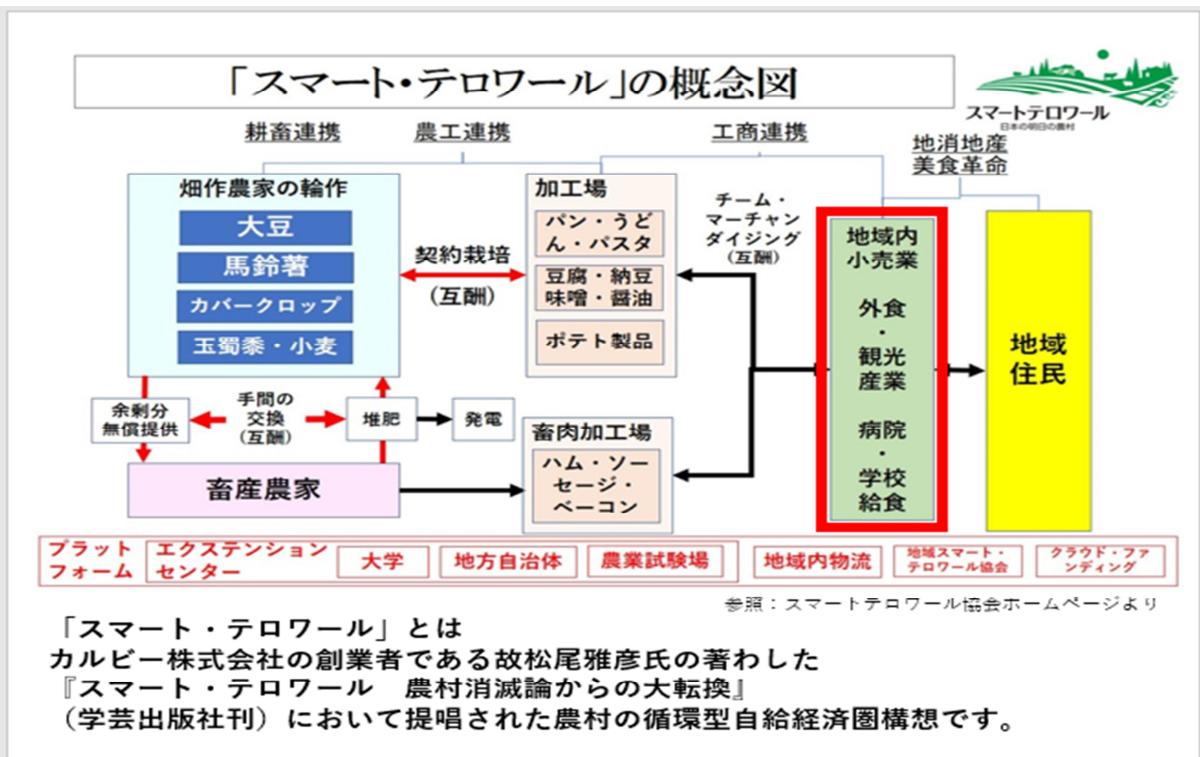
- ・担い手不足、資材の高騰、人件費の増加等々…  
⇒ 荒廃農地が拡大、農地が維持できない、美しい景観が守られない

#### 2. スマートテロワール構想理念（新しい農業モデル）

- (1) 地域資源の最適活用
  - ・池田町特有の自然環境や文化を最大限に活用し、持続可能な農業・食文化を推進する。
- (2) デジタルと伝統の融合
  - ・先端技術を活用しながらも、伝統的な知識や技術を尊重し、両者の融合を図る。
- (3) 地域コミュニティの活性化
  - ・地域の人々が主体的に関わり、協力し合うことで、持続可能な経済と豊かなコミュニティを築く。

#### 3. 池田町における展開案

- キーワード：強靭な自給圏の構築 ⇒ 食料・住宅・電力の地産地消
- (1) 農地のゾーニング（土地区分）
  - ・地域計画のブラッシュアップ
- (2) 地消地産
  - ・給食センターへの農産物納入
  - ・食品加工場から生産品目の選定
  - ・市場価格・時期を見極めた作付け
- (3) 海外販路の確立
- (4) デジタルを駆使したスマート農業
- (5) 地域のデザインに女性の意見を重視採用  
→消費活動の支出はほとんど女性が決定



「新しい池田町農業ビジョン」

あづみ野池田  
スマートテロワール構想  
Azumino Ikeda Smart Terroir  
愛称 “アイシテル”

「スマート・テロワール」  
それは「美しく強靭な農村自給圏」